



まつやま

市議会だより

No.351

2025年(令和7年)11月15日

編集・発行／松山市議会

ホームページアドレス <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shigikai>

松山市議会

検索



夏休み親子市議会体験ツアーを開催しました



(7面に詳細記事)

令和7年9月 第3回定例会

令和7年度9月補正予算
**22億4436万8千円を
原案可決**

令和7年第3回定例会を、9月5日から26日間にわたり開催し、9月30日に閉会しました。

9月5日には、市長が予算案などの提案説明を行い、9月11・12日には7人の議員が代表質問を、16・18日には19人の議員が一般質問を行い、提出された議案および市政全般にわたり、活発な議論がなされました。

9月22・24・25日には6常任委員会を、また、22日には特別委員会も開催し、本会議で

付託された議案や請願などについて、審査を行いました。

その結果、議案20件は、いずれも原案可決あるいは同意、認定2件は継続審査となり、また、請願3件については、一部採択1件、不採択1件、継続審査1件の議決結果になりました。

なお、詳しい内容については「議案等議員別表決結果一覧表」(6・7面)に掲載しています。

可決された主な議案

！予算

本会議の審議を経て原案可決された令和7年度9月補正予算の主な事業は次のとおりです。

●文化振興事業(文化施設の在り方検討事業)

文化施設について、将来需要の予測、他市の運営状況調査等を実施し、松山市民会館が閉館した場合に必要な機能を含めたモデルプランを作成する。

●小学校体育館空調整備事業

●中学校体育館空調整備事業

熱中症対策など教育環境の向上と避難所環境の充実のため、松山市立の全ての小学校・中学校の体育館に空調設備を導入する。令和7年度は、民間事業者のノウハウを活用した効果的な事業手法を調査・検討するほか、債務負担行為を設定し、令和8年度の事業者選定を目指す。

●調整給付金給付事業

令和6年度に国が定額減税を実施し、推計の所得に基づいて減税しきれないと見込まれた方には、調整給付金を給付した。所得の確定や扶養親族の変動に伴い、令和7年度に給付する調整給付金が当初の見込みよりも増えたため、追加補正する。

●医療提供体制整備事業

年末年始に市急患医療センターや市医師会休日診療所の混雑を緩和するため、市医師会や松山薬剤師会などの協力を得て、医療機関の臨時診療やオンライン診療、薬局の臨時開局などを行う。

●松山駅周辺整備事業

JR松山駅の旧駅舎の撤去に合わせ、東口駅前広場に歩行者用の屋根付き通路を設置して、駅利用者の安全性と利便性を高める。債務負担行為を設定し、令和8年度の完成を目指す。

●道路等管理事業

市内一円の道路を対象に、舗装の老朽化や路肩、排水施設などの不具合などにより、歩行者や車両の通行に支障が生じている箇所の補修工事などを行う。

●野菜共同利用施設整備支援事業

愛媛県内に27カ所ある野菜の集出荷施設の出荷機能などを1カ所に統合する取り組みを、県と市町が連携して支援し、作業や運搬の効率を高め、農業者の所得向上を目指す。

●介護DX推進事業

ケアマネジメント業務の効率化と質の向上などを目指すため、AIが膨大なデータから利用者の状態に応じたケアプランを提案する「AIケアプラン支援システム」の実証事業を実施する。



代表質問

白石 勇二 議員
(自由民主党議員団)

新たな文化施設の整備について

問 市民会館に代わる新たな文化施設の整備に関する本市の考え方について問う。

答 新たな文化施設の整備については、市全体の文化施設の在り方を考える中で検討する必要がある。そのため、求められる施設の機能や規模について、文化施設の在り方に係る調査の結果などをもとに、松山市総合コミュニティセンターのキャメリアホールや企画展示ホールなど既存施設との役割分担や設備の充実による利用促進、また、アリーナの計画が進む中で、コンサートなど文化イベントにどの程度対応できるかなどを見据え、検討会の中で協議していく。これらを踏まえ、人口減少など、さまざまな要因を考慮した上で、最適な市の方針を決定したい。(坂の上の雲まちづくり部長)

松山外環状道路について

問 本市が発展を遂げていくためには道路ネットワークの充実が重要と考えるが、インター東線の整備の進捗について問う。

答 インター東線は、平成30年度に事業化され、本線と、側道のうち、国道33号から(仮称)北土居インターチェンジまでの400メートル区間を、そこから国道11号までの1600メートル区間を市が、それぞれ整備している。国が施工する箇所は、令和3年度から用地買収に着手しており、令和6年度末で用地取得率は22%となっている。本市が施工する箇所は、令和5年度から用地買収に着手し、今年度は北土居一丁目と今在家四丁目で用地買収を進めており、今年度末での用地取得率は13%になる見込みである。(都市整備部長)

(その他の質問事項)

令和6年度決算状況、JR松山駅周辺の整備、医療提供体制整備事業、保育所等の待機児童対策

大亀 泰彦 議員
(フロンティアまつやま)

駅前整備について

問 快適で安全な歩行空間の形成維持に向けた、自転車等放置禁止区域や自転車の押し歩き区域の指定の取り組み内容とスケジュールについて問う。

答 自転車等放置禁止区域は、現在、地の意向を確認しながら区域案の作成を進めている。今後、パブリックコメントを実施するとともに、警察や道路管理者、有識者などの意見を伺いながら、最終的な区域を決定した後、広報などで十分に周知した上で、令和8年4月に予定している第四別館前駐輪場の供用開始に併せて、区域を指定する予定である。また、市駅前広場の歩行空間における市民の安全性を確保するため、自転車の押し

防災・減災対策について

大塚 啓史 議員
(公明党議員団)

市立小中学校体育館への空調整備について

問 南海トラフ地震防災対策推進基本計画における減災目標を達成するために、今後10年間で特に優先して取り組むべきことについて問う。

答 今回、国が変更した基本計画で、地震や津波から命と社会を守るための「命を守る」対策と、助かった命や生活を維持するための「命をつなぐ」対策により、防災意識を醸成するほか、総合的な防災体制を築き、ライフラインやインフラを強化するなど、具体的に実施すべき5つの主な項目が示された。これを受け、本市は、今年度末に愛媛県から公表される被害想定を考慮し、今後10年間で防災教育の充実、防災訓練の実施や防災マップの更新、木造住宅や上下水道施設

(その他の質問事項)

市債の状況、中小企業支援、医療提供体制整備事業、シェアリングシティ、野菜共同利用施設整備支援事業、市民サービスの向上

田中 エリナ 議員
(まつやまチェンジアクション)

城山土砂災害について

問 災害発生後、本市が第三者委員会を設置、第三者的かつ独立した検証体制を設けなかった理由を問う。

答 専門家に意見を伺ったところ、発生メカニズムについては技術検討委員会が適切に調査や検討を行っており、追加の調査などは難しいとの意見をいただいた。また、道路の設計や施行、城山の管理に関してはその分野の専門家に意見を伺い、市として妥当性を確認するものとしたため、改めて第三者委員会を設置し検証する必要性がないと判断した。(開発建築部長)

市立小中学校体育館への空調整備について

問 今議会に提出された補正予算案には、事業手法調査などの業務委託が盛り込まれているが、この業務委託の目的や内容について問う。

答 今回の空調整備は、市内82校の小中学校にできるだけ短期間で整備したいと考えており、官民連携の手法により、工期の短縮やコストの削減、避難所としての機能強化を確実かつ円滑に進めるために業務委託を行う。内容は、空調整備に必要な準備を進めるため、民間のノウハウや技術力を効果的に活用するための最適な官民連携の手法の調査検討や、整備事業者選定に必要な仕様書の作成および評価基準の設定などを行うための専門的な知識や技術の提供を委託する。教育長

(その他の質問事項)

市債の状況、中小企業支援、医療提供体制整備事業、シェアリングシティ、野菜共同利用施設整備支援事業、市民サービスの向上

若江 進 議員
(みらい松山)

JR松山駅周辺整備事業に係る路面電車の引き込み工事について

問 工事の認可に向けて詳細設計を行っているとのことだが、開始時期および進め方について具体的に伺う。

答 路面電車の引き込み工事は、電停を現在の位置からJR松山駅の新駅舎の近くへ約30メートル移設する。詳細設計は今年度内に終え、来年度は認可申請を行うとともに、路面電車を通る用地で既存構造物の撤去や整地など、関連する工事に着手する。その後、認可が下り次第、軌道の敷設工事を進めていく予定である。(交通拠点整備担当部長)

アリーナ整備に係る認識と今後の対応について

問 他市の事例を参考に、市が土地を取得し事業者が土地の無償提供を行うなど、事業者が参画しやすい事業手法を検討することが必要ではないかと考える。そうすることで、民営施設の道も見えるかもしれないため、今後どういった点を事業者へアピールしていくのか伺う。

答 JR松山駅は県内外から人を呼び込む広域交通結節点であり、周辺の民間開発との相乗効果によるにぎわいは駅周辺だけでなく中心市街地などへの波及も期待されるため、このポテンシャルの高さをアピールしていきたいと考えている。今後は、サウナ型市場調査を通じて、民間事業者と意見交換を重ね、参画しやすい事業手法を検討し、民間事業者や地域の経済団体とも一緒に、JR松山駅周辺のアリーナ整備の実現に向けて取り組んでいく。(交通拠点整備担当部長)

(その他の質問事項)

財政見直し、道路橋梁の長寿命化、上下水道の老朽化対策

門田 寛子 議員
(新風会)

都市型ファイナリー整備による本市の活性化について

問 本市の農業が受ける経済的な効果として、現在予定している市内および県内産ブドウの年間使用量と割合、ファイナリーへの提供が決定している市内産ブドウの生産者数と年間生産量、ファイナリーで活用予定の市内の耕作放棄地の面積について問う。

答 ブドウの割合は、県内産を約3分の1とする計画で、現在3000キログラムの使用が決まっている。市内産は現時点で決まっていないが、引き続き、事業者が市内および県内の生産者などと協議を進めるとともに、1ヘクタール規模の耕作放棄地での自社栽培により、調達

市立小中学校体育館の空調整備について

問 市立小中学校体育館を災害時の避難所として活用する場合、停電時でも空調を活用可能にする考えはあるのか。

答 大規模災害時には、空調設備の熱源である電気や都市ガスの供給が止まることも想定されるため、そうした状況でも稼働できる対応として、LPガスの活用や外部電源を接続できる設備の設置などについて、検討したいと考えている。(教育長)

(その他の質問事項)

文化財保護の観点からのインバウンドの方々に対するマナーの啓発、安心して子どもを産み育てられる基盤づくりと母子の健康増進

代表質問



上田 貞人 議員
(ともに松山)

脱炭素・循環型
まちづくりについて

問 生ごみなど一般廃棄物の堆肥化に
取り組む本市の事業者数および堆
肥化された量と直近5年間の増減
傾向について、また、堆肥化への取り組み
に対する本市の評価と支援について問う。

答 一般廃棄物を堆肥化している本市の事
業者は1者で、堆肥化された生ごみや
木の枝などは令和2年度の約5400
トンから6年度には約6300トンと増加傾
向にある。この取り組みは、野菜の生産者、小
売店などの持続可能な発展につながるべく高く
評価しており、グリーンセンターに枝などを持
ち込む業者に堆肥化を要請しているほか、市内
の事業所にリフレッショを配布し生ごみのリ

サイクルなどを啓発している。今後もこうした
取り組みを通して、本市の資源循環が進むよう
堆肥化を支援したいと考えている。(環境部長)

持続的な賃上げについて

問 本市ではこれまで人材育成支援
や設備投資への補助などを展開
しているが、持続的な賃上げを現
現させるための取り組みについて問う。

答 全国的にも先進的な取り組み
として、令和5年度に奨励金
制度を設け賃上げを支援して
きたほか、デジタル化やDXによる生
産性の向上などを推進することで、市
内企業の成長をサポートしてきた。
今後は、物価高や最低賃金の引き上
げに伴う国や県の支援策を効果的に
活用しながら、本市独自でこれらの制
度の拡充を検討するとともに、競争
力や収益力を高め持続的な賃上げの
実現につなげたいと考えている。(藤田副市長)

(その他の質問事項)

本市の教育施策の成果と展望、城山
公園の整備、救急業務

一般質問



向田 将央 議員
(自由民主党議員団)

本市の「文化」に対する
考え方について

問 市民会館は新しく建設するだけでなく
既存施設の活用も検討することだ
が、いずれも同じ場所に建て替えがで
きない事を前提にしている。市民会館が同じ場所に
建てられない理由は、国の史跡指定が理由とのこ
とだが、堀之内が何か研究の取り組みをしてい
るようにはとも思えない。市民会館について既
存施設の活用も検討するとはどういう意味か。

答 代替施設は、文化施設の在り方検討
会で意見を伺うことにしている。市内
各施設や周辺市町にも文化施設があ
り、施設の機能・規模に応じた役割分担を検
討する。総合コミュニケーションセン
ターでは、高品質な音響設備に更新し、

照明のLED化を行うなど、機能向上を図る
改修を行っており、文化イベントで利用され
ている市有施設の音響や照明などの設備の
充実で、活用の幅を広げることも検討したい
と考えている。(坂の上の雲まちづくり部長)

問 堀之内地下に文化財が残されていると
のことだが、市民会館も立派な文化施設
であり後世に残していく必要がある。文
化庁は本市には史跡の適切な保存と活用を進める
よう指導しているだけで建てられないとは言
っていない。堀之内には建物という建物は全て建
てる事ができないのか。また本市が堀之内につ
いて意見を公募した。一番多かった意見を問う。

答 史跡内に新しい施設を整備するには、
調査を通じて詳細な整備計画を策定す
る必要がある。現在整備している休憩
所やトイレなどは、史跡公園の利活用に必要な
便施設で整備が認められているが、市民会館
は、史跡の保存・活用に直接関係しないため、
建て替えは困難と考えられる。また、本市が美
施したパブリックコメントで最も多かった意
見は、サッカースタジアムやラグビー場などの
球技場を建設してほしいというものだったが、
実現が困難なため、整備計画への反映はしない
という考え方を公表していた。(開発建設部長)



池本 俊英 議員
(みらい松山)

訪問介護事業について

問 介護報酬改定による基本報酬の引き
下げが、訪問介護事業者の経営状況や
市民へのサービス提供体制にどのよ
うな影響を与えているか。また、このよう
な現状をどのような方法で把握しているのか。

答 訪問介護は、利益率が高いことなど
を理由に基本報酬が引き下げられ
ており、事業者の規模や地域などに
よっては、経営状況を圧迫する懸念もある。
本市の訪問介護事業者数は、4月1日時点
で、令和5年は195、6年は198、7年
は197と、ほぼ横ばいの状況で、現時点
では、市民へのサービス提供体制を維持で
きていると考えている。現状把握について
は、定期的に実施している事業者への運営

指導の際に利用者数や人員配置基準の確認
のほか、聞き取りを行っている。事業者か
らの廃止届提出時にはその理由を確認し、
人材不足や職員の高齢化といった事業者の
課題把握に努めている。(福祉推進部長)

部活動の地域移行について

問 地域クラブ活動への財政支援の方針を
問う。また、会費などの保護者負担の目
安と、家庭の経済格差が生徒の体験格
差につながらないような支援策の考えを問う。

答 国の取りまとめでは、公的負担は、
国、県、市で支え合うことが重要と
されており、今後の国の検討状況を
注視しながら、市の財政支援を検討して
いきたい。また、生徒の活動機会を保障す
る観点から、国は、受益者負担の金額の目
安を示すことにしている。家庭の経済格
差が、生徒の体験格差につながるいた
めの支援策については、国や他の自治体の
動向を注視しながら、調査研究したいと
考えている。(教育委員会事務局長)

(その他の質問事項)

売り手市場での本市の人材確保



池田 美恵 議員
(フロンティアまつやま)

市民会館について

問 現在の市民会館が使えなくなつてから
新しい会館が完成するまでの空白期間
に関する調査やアリップをどのよう
に行うのか。また、中ホールが使用できなくな
る際の代替策をどのように考えているのか。

答 これまでの車両基地地検討会や市民フ
ォーラムでいただいた意見を文化施設の
在り方検討会に引き継ぎ、今後は市民ア
ンケートを実施するほか、文化団体やプロモーターへの
ヒアリングを行い、検討会で市民会館の代替機能や
規模について協議。際の資料にする予定である。文
化団体とは、検討会以外でも意見交換を続け、引き
続き関係者から丁寧に意見を聞き取りたい。中ホ
ールの代替策については、検討会で総合コミュニテ
ィセンターや県民文化会館のほか、周辺市町の文化施設



太田 幸伸 議員
(公明党議員団)

熱中症対策について

問 熱中症になった市立小中学校の
児童生徒数と熱中症対策の取り
組み状況について問う。

答 熱中症と診断された児童生徒数について
昨年は、5月3人、6月6人、7月17人、
8月7人で、今年は、5月5人、6月10人、
7月14人、8月6人であった。取り組み状況につ
いては、松山市立学校熱中症対策ガイドラインに
沿って、各教職員が熱中症に対して適切で迅速な
対応が取れるよう、校内研修で予防知識の習得を
図るほか、事故発生時の対応訓練を行っている。ま
た、児童生徒に対しては、帽子の着用や日陰での
休憩、こまめな水分や塩分の補給などを指導して
いる。さらに、全ての小中学校の体育館に大型扇
風機を、校舎内に製氷機を設置したほか、携帯型

熱中症計を配布している。(教育委員会事務局長)

子どもの第三の居場所について

問 複雑な課題を抱える子ども数の増加により
必要性が増している子どもの第三の居場
所に対する認識と方向性について問う。

答 子どもたちが家庭や学校以外に安心して過
せる第三の居場所は大切であり、行政だけでな
く、企業、団体、地域など、社会全体で居場所
を整えていくことが重要と考えている。これまで、児童
クラブや放課後子ども教室など、放課後の居場所を充実
させ、子ども食堂など、地域で主体的に行われている活
動も支援してきた。今年8月からは、さまざまな課題を
抱える児童と保護者を対象とする児童育成支援拠点を開
設し、生活習慣の形成や学習のサポートなども行っ
ている。また、昨年度「子どもまんなか松山大賞」を創設
し、企業や団体が行う、子どもや若者の居場所づくりな
どの活動を表彰し、子ども子育てサイトや、広報番組
および広報紙で発信するなど、新たな活動のきっかけ
づくりをしている。今後もこうした取り組みを通じ、こ
どもまんなか社会の実現に取り組み。(子ども家庭部長)

(その他の質問事項)

市役所の防災対策、市民相談の体制、市駅前広場
の整備、未使用商品の中軽自動車への課税免除



土井田 学 議員
(新風会)

番町小学校のプール跡地に
整備する愚陀佛庵について

問 愚陀佛庵は観光文化施設の一つだが、騒
音、交通渋滞、無断駐車、治安の悪化な
どの影響を受けるのは、近隣住民であり、
迷惑に感じている人もいると伺う。地域住民に対
象に、意見や要望を優先的に反映させるための説
明会はいくつ開催したか。また、地元からの要望は
どのようなものがあり、どう対処したのか示せ。

答 近隣のマンションの代表者から、愚陀
佛庵の再建に伴う騒音や混雑に対する
不安の声が上がったため、代表者を含
む3名の方と4月18日、5月23日、6月17日に
協議を行った。その中で、工事期間中の安全対
策や、再建後の住環境の保全について、管理人
の配置による対策などを説明した。協議後、フ

月2日にマンション住民向けのお知らせ文書
を全戸にポスティングしたが、現在まで、反対
の声はいただけていない。引き続き、小学校や
PTA、地元関係者へ安全を優先することや、
住環境の保全に加え、要望があれば説明会を
開催するなど丁寧な対応を心がけていきたい
と考えている。(坂の上の雲まちづくり部長)

松山城の樹木管理計画と
適正管理について

問 令和5年10月に市が作成した史跡松山城
跡樹木管理計画の中で、一定の降雨があれ
ば斜面崩壊が起こりやすく、住民に危険
が迫ることを予測していた。予測してから現実
になるまでの約9ヶ月の間に、市長はどのような対
策を指示し、いつ完了報告を受けていたのか示せ。

答 樹木の管理は計画に基づき、来園者の安全
確保を優先的に整備し、さらに、日常的に指
定管理者が、枝の落下や倒木の危険性がある
樹木は、枝打ちや伐採を行って、城山全体とし
ての管理は適正に行っており、今回の災害の予見や
回避は不可能だったと考えている。(開発建設部長)

(その他の質問事項)

職員が働きやすい職場環境



河本 英樹 議員
(ともに松山)

市立中学校での部活動の地域移行について

問 部活動の地域移行を進める上で必要となる指導者の人材確保についてどのように取り組むのか。

答 本市では、部活動の地域移行を進める上で、部活動指導員や外部指導者、大学との連携により指導者派遣などで人材を確保しており、平日の指導を行っている部活動指導員や外部指導者に、休日の地域クラブ活動での指導や協力を依頼することになっている。また、専門的な指導を受けたいという生徒のニーズに対応するため、競技団体へ指導者の派遣について協力依頼をしている。さらに、愛媛



渡邊 啓之 議員
(まつまチェンジアクション)

障がい者福祉について

問 手話言語条例の制定に関し、現時点での本市の検討状況および今後の方向性について問う。

答 本市では、手話は言語であること認識しており、意思疎通支援を充実させることが重要と考えられている。近年、情報通信技術の進歩により、手話以外にも聴覚に障がいのある方向けの音声文字変換アプリなど多様なコミュニケーション手段が提供されており、手話を含め、それらの活用についても検討していく必要がある。引き続き、県や他都市の動向を注視し、調査研究していきたいと考えている。(福祉推進部長)

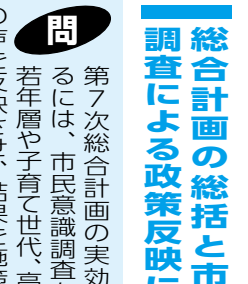


岡 雄也 議員
(自由民主党議員団)

水道事業者への水質検査の義務化について

問 未給水団地では自立した水道事業の運営を前提とし、補助制度が限られるため、施設の老朽化対策が進まず、更新遅延が懸念されている。国や県に対し簡易水道要件の緩和や分散型支援の導入を強く要望するべきではないか、見解を問う。

答 国では、地震による断水や老朽管の破損などを念頭に、水道事業のリスク管理を重視するようになってきている。こうした中、国は水道施設の分散化などに関する実証事業で、施設規模の適正化を検討すると伺っているため、その状況や結果を踏まえて、国や県への要望について検討したいと考えている。(総合政策部長)



岡 雄也 議員
(自由民主党議員団)

総合計画の総括と市民意識調査による政策反映について

問 第7次総合計画の実効性を高めるには、市民意識調査を継続し、若年層や子育て世代、高齢者などの声を反映させ、結果を施策優先度や数値目標の進捗管理に活用し、計画修正や新規施策へ反映できる仕組みが必要と考えられるが、見解を問う。

答 第7次総合計画は、若者から高齢の方まで1万人以上の声や思いをもとに策定した。進捗管理でも、2500人を18歳以上で無作為に抽出し、毎年、市民意識調査を行う。また、市民の実感を測る質問のほか、ウェブでも回答できるよう工夫する。加えて、この意識調査の結果をもとに、多方面の有識者が参加する外部評価委員会で見解を伺い、さまざまな声を事業の見直しや新しい事業の立案でいかしていく。(市長)



佐々木 亨 議員
(公明党議員団)

街路樹の安全確保に向けた適正管理について

問 街路樹の管理の質を上げるため、街路樹管理台帳のさらなる充実を図ることについて所見を問う。

答 本市では、路線ごとで樹木に番号を割り当て、現地調査により、樹種や高さ、幹回りなどの情報を更新しながら、台帳で管理している。その中で、従来は樹木の配置を示す地図を紙媒体で管理していたが、更新作業の効率化を図るため、今年度から台帳と地図を電子データで一括管理するなど、街路樹が適正に管理できるよう管理台帳の充実に努めている。(都市整備部長)



本田 精志 議員
(自由民主党議員団)

広域連携による観光施策について

問 インバウンド獲得に向けた広域連携による大阪・関西万博などでの取り組みを問う。

答 西日本の自治体や民間事業者などが参加する西のゴールデンルートアラ・インスのほか、大阪観光局と全国の温泉地の自治体で設立した温泉ツーリズム推進協議会で、新しいモデルコースをつくり、日本の温泉文化と道後温泉の魅力などを情報発信している。また、大阪・関西万博で私が西のゴールデンルートの共同記者会見に参加し、欧米豪の方をメインターゲットに、美しい景観を望める松山城をはじめ、道後温泉の歴史や本館の文化的価値など、松山市の魅力を伝えた。9月27日に

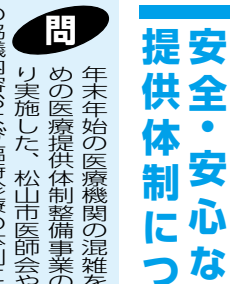


小崎 愛子 議員
(日本共産党議員団)

医療・介護・福祉事業者への物価高騰支援について

問 深刻な人材不足となっている介護サービス事業所に対して、燃料費などを援助する制度を創設する考えはあるか問う。

答 訪問介護は、事業者の規模や地域によっても、経営状況を圧迫する懸念もある。そうした中、現在、県で国の交付金を活用し物価高騰の支援を行っている。訪問介護などの介護サービスは、高齢化が進む中で、地域の高齢者を支える重要なサービスと認識しているため、県の支援状況なども踏まえつつ、サービスを提供できる体制が維持できるよう、引き続き財政支援などについて、中核市長会や全国市長会を通じて国へ提言していきたいと考えている。(福祉推進部長)



小崎 愛子 議員
(日本共産党議員団)

安全・安心な医療提供体制について

問 年末年始の医療機関の混雑を緩和するための医療提供体制整備事業の開始に当たり実施した、松山市医師会や関係機関との協議内容および臨時診療の体制について問う。

答 これまで年末年始の混雑を緩和する方法について、松山市医師会と協議しており、昨年度も松山市急患医療センターで医師を増員するなど対応した。そのような中、昨年度の年末年始の状況を受け、改めて、受診できる医療機関の増加やオンライン診療の導入などについて協議を重ね、本年3月からは、松山薬剤師会を含めた協議を重ねてきた。その結果、市医師会や松山薬剤師会の協力を得て医療機関での臨時診療や薬局の臨時開設とともに、民間事業者が提供するオンライン診療を導入し、医療体制を強化することにした。臨時診療については、12月31日から1月3日に、現時点で延べ25万所の内科と小児科で実施する予定である。また、感染症の流行状況に応じ、大規模病院にも協力した対応を調整している。(健康医療部長)

新風会			ともに 松山			まっやまチェンジ アクション			無会派					議決結果	議決日
									共産	民社	子				
土井田学	梶原時義	門田寛子	上田貞人	河本英樹	松波雄大	渡邉啓之	清水義郎	田中エリナ	小崎愛子	杉村千栄	上杉昌弘	武田浩一	田淵紀子		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査	9月30日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	9月5日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○		9月30日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	9月30日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	原案可決	
○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択	
○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	継続審査	
○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一部採択	
○	退	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	退	一部不採択	



武田 浩一 議員
(民社クラブ)

ふれあい収集について

問 高齢化のさらなる進行に伴う今後の利用者増加の見通しと、収集を継続するための体制づくりに向けた人員の確保や資機材などの整備について問う。

答 今後の利用者増加の見通しは、これまでの推移から、緩やかに増え続けると考えている。また収集を継続するための体制づくりに向けた人員や資機材などについては可燃ごみなどの収集を効率的に見直し、現在では既存の職員10人と軽トラック5台でふれあい収集を行っている。これからも、利用者の増加に対応できるように、さらに効率化するとともに

必要に応じて人員などの確保も検討していきたいと考えている。(市長)

西部浄化センター 下水汚泥固形燃料化事業について

問 下水汚泥を持続可能なエネルギー源として有効利用し、二酸化炭素排出量の削減に寄与する下水汚泥固形燃料について、排出される下水汚泥の日量約60トンから見込まれる効果等同つ。

答 下水汚泥は、これまで多くを埋立処分していたが、新たな施設では、全てを固形燃料化できるため、リサイクル率は100%になり、資源の有効利用が図れる。また、製造した固形燃料はカーボンニュートラルな資源であるため、発電施設で石炭と一緒に使用することで、一般家庭の約800世帯分に相当する年間約2100トンの二酸化炭素排出量の削減につながる。

（公営企業局上下水道部長）

（その他の質問事項）
マイナンバーカード2025年問題への対応



杉村 千栄 議員
(日本共産党議員団)

生活保護行政について

問 て、夏季加算の創設を巡る状況
および生活保護法の支給対象
から外れている世帯に対するエア
コンの設置や修理の支援について問う。

答 夏の猛暑や物価高騰は今後続くことが見込まれ、生活保護受給者の健康と最低限度の生活を維持するため、夏のエアコンの電気代を扶助する夏季加算の創設は必必要と考え、全国市長会を通じて、国へ提言しているが、現時点で、国のは見られない。支給要件に該当しない世帯へのエアコンの設置や修理の費用は、国の通知に基づき、保護費のや

りくりによって捻出していたく
とになっており、困難な場合には、生

本市に居住する外国人について

問 本市に居住する外国人の生活保護の受給状況について、審査と認定の在り方および本市の受給者数と外国人が占める割合について問う。

答 外国人の生活保護の審査や決定は、国の通知に基づき、永住や定住など、一定の在留資格を持つ方を対象に、生活保護法に準じて実施しており、日本人と同じである。令和7年8月末時点の本市の受給者数10839人のうち外国人は87人で、全体の0.8%である。（市長）

（その他の質問事項）
消費税減税

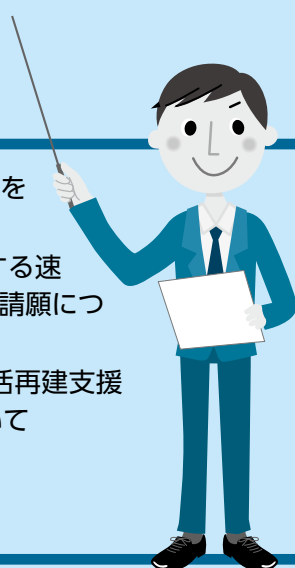
9月定例会で審査された請願・陳情は次のとおりです。

請 願

- 第32号 愚陀佛庵再建について安全性や住環境への配慮を求める請願について【不採択】
- 第33号 最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書提出を求める請願について【継続審査】
- 第34号 緑町土砂災害における住民向け説明の充実と生活再建支援金の適切な運用及び対象拡大を求める請願について【一部採択（第1項）、一部不採択（第2項）】

陳 情

- | | |
|------|--|
| 第33号 | 公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情について |
| 第34号 | 認可外保育施設に対する地域保育所補助金の増額及び補助内容の見直しを求める陳情について |



討論

議案第77号令和7年度松山市一般会計補正予算（第3号）第2条第2表債務負担行為補正中、松山市立図書館窓口等運営業務委託（中央・三津浜・北条図書館）、議案第78号令和7年度松山市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）および議案第80号令和7年度松山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）に反対

小崎 愛子 議員（日本共産党議員団）

議案第92号松山市議会定数条例の一部改正についてに反対
杉村 千栄 議員（日本共産党議員団）

議案第92号松山市議会定数条例の一部改正についてに反対
田 淵 紀子 議員（子ども未来）

請願第32号「愚陀佛庵再建について安全性や住環境への配慮を求める請願について」採択に賛成

土井田 学 議員（新風会）

議案等議員別表決結果一覧表

松山市議会 令和7年9月定例会

(○：賛成、×：反対、退：退席)

議 案 等			議長のため表決に加わっていません。	久	晴	郎	志	和	二	央	郎	也	子	史	一	美	子	伸	苗	苗	亨	一	英	之	進	彦	紀	彦	恵	良	司		
認定 1	令和6年度松山市一般・特別会計決算の認定について【継続審査】			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定 2	令和6年度松山市公営企業会計剰余金の処分及び決算の認定について【継続審査】			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 76	令和7年度松山市一般会計補正予算（第2号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 77	令和7年度松山市一般会計補正予算（第3号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 78	令和7年度松山市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 79	令和7年度松山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 80	令和7年度松山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 81	松山市暴力団排除条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 82	松山市体育施設条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 83	松山市議会議員及び松山市長の選挙における選挙運動経費の公費負担に関する条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 84	松山市急患医療センター設置条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 85	松山市水道事業給水条例及び松山市下水道条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 86	工事請負契約の締結について（たちばな小学校12・16棟校舎長寿命化改修ほか主体工事）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 87	工事請負契約の締結について（三津浜中学校16・23棟校舎長寿命化改修ほか主体工事）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 88	工事請負契約の変更について（第二和泉団地1号棟新築主体その他工事）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 89	工事請負契約の変更について（第二和泉団地2号棟新築主体その他工事）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 90	旧慣による市有財産の使用廃止について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 91	市道路線の認定及び一部廃止について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 92	松山市議会議員定数条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 93	教育長の任命に関し同意を求めることについて			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 94	固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 95	人権擁護委員候補者の推薦について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願 32	愚陀佛庵再建について安全性や住環境への配慮を求める請願について			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願 33	最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書提出を求める請願について【継続審査】			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 34	緑町土砂災害における住民向け説明の充実と生活再建支援金の適切な運用及び対象拡大を求める請願について	第1項		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第2項		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	

※共産：日本共産党議員団 民社：民社クラブ 子：子ども未来

夏休み親子市議会体験ツアーを開催しました

7月27日(日)、本市の小学校5・6年生24名とご家族に参加していただき、「夏休み親子市議会体験ツアー」を開催しました。市議会活動への関心と理解を深め、市議会を身近に感じていただくために、議場や議長室などを見学した後、議場で模擬市議会を体験していただきました。模擬市議会では、児童が議長や議員、理事者に分かれ、議員役の児童は質問台から質問をし、市長ら理事者役の児童が答弁をしました。参加者からは「普段は入れない部屋に入ったり、議長席に座ることもできたり貴重な体験ができた」「議員さんたちが分かりやすく説明してくれ、よく分かった」「議会を身近に感じることができる良いイベント」「大人にとっても興味深い内容だった」などの感想をいただきました。



委員会審査

9月定例会で委員会に付託された議案などについて審査を行いました。
主な質疑内容は次のとおりです。

総務理財委員会

採用試験事務について

●土木技術職員のオフアール型採用の状況および他の職種での実施予定

旧慣による市有財産の使用廃止について

●埋め立てしたため池の現状と今後の活用方法

文教消防委員会

女性消防吏員活躍推進事業について

●ワーキンググループで出された課題や改善提案が反映された事例

体験型研修の内容

●小中学校体育館空調整備に係る事業手法調査及び事業者選定支援等業務委託について

●具体的な調査検討内容と以前に普通教室に空調を整備した際のノウハウの活用

市民福祉委員会

医療提供体制整備事業について

●オンライン診療を利用できる方の範囲

●年末年始の一次救急医療機関の利用における帰省者や観光客への対応

●年末年始の医療機関での臨時診療に係る協力金の積算根拠

保育士等確保支援事業について

●補助を行う施設数と雇用人数の想定

●事業の周知を含む今後のスケジュール

環境企業委員会

●松山市水道事業給水条例及び松山市下水道条例の一部改正について

●災害等が発生した場合に制度を適用する状況

●市民と他市町指定の業者とのやりとり方法

●周辺自治体との連携

都市整備委員会

道路等管理事業について

●道路の補修が必要な箇所の発見方法

●補正額の根拠と物価高騰の影響

産業経済委員会

路面下空洞調査の委託料および調査規模と実績、今後の対応など

●工事請負契約の変更(第二和泉団地1号棟および2号棟新築主体その他工事)について

●地下水の排水などの地元との調整

●野菜共同利用施設整備支援事業について

●農家の負担の変化と運搬コストの効率化

●選果場整備の数値的な目標

●農業DX推進事業について

●現在の事業者数および今後の展望

●将来的な戦略プランの作成

松山駅周辺整備調査特別委員会

●松山駅東口駅前広場歩行者用通路整備事業について

●整備する歩行者用通路の安全面、バリアフリー対応、舗装の仕様

●工事計画と供用開始時期

●金額の理由と撤去時の利活用

●の見通し

●松山駅高架下北側駐輪場整備事業について

●共同で整備するJR四国の負担額

本会議開会前にミニイベントを開催します♪

松山市議会では、次回定例会初日の本会議開会前に、市民のみなさんに議場へ足を運んでいただく機会として、議場でのミニイベントを開催いたします。

当日どなたでもご覧いただけますので、坊っちゃん劇場のユーモアあふれるお芝居をお楽しみいただくとともに、ぜひ、本会議場の雰囲気も味わってください。

◆日時：11月28日(金)
午前9時30分～(15分程度)
※本会議は、午前10時から開会の予定です。

◆内容：坊っちゃん劇場による
子規と漱石ぶらり散歩のドタバタ芝居

◆会場：市役所別館5階 市議会本会議場
【受付場所：市役所別館6階 傍聴受付】

◆定員：38人(議場内傍聴席)

◆お問い合わせ：議事調査課 TEL(089)948-6651



松山野球拳おどりに参加しました

松山市議会観光振興議員連盟の活動の一環として、8月9日(土)に「第60回松山野球拳おどり」(団体連の部)に参加しました。踊りを通して本連盟の活動を知っていただくとともに、松山野球拳おどりの魅力を発信しました。



令和7年12月定例会の開催日程(予定)

12月定例会は、11月28日(金)から12月18日(木)まで開催される予定です。
正式な日程は、11月21日(金)開催予定の議会運営委員会で決定します。
なお、12月10日(水)は休会日ですが、一般質問日となることもあります。

11月28日(金)	本会議(開会、提案説明)
12月4日(木)	本会議(一般質問)
12月5日(金)	本会議(一般質問)
12月8日(月)	本会議(一般質問)
12月9日(火)	本会議(一般質問、委員会付託)
12月11日(木)	委員会(文教消防)(産業経済)
12月12日(金)	委員会(都市整備)(市民福祉)
12月15日(月)	委員会(環境企業)(総務理財)
12月18日(木)	本会議(表決、閉会)

質問議員名は、議会ホームページ「令和7年12月定例会の日程」欄に掲載します。

■教育長	前田 昌一
■固定資産評価審査委員会委員	片岡 晶子 大西 泰祐 山下 清 藤井 徹哉 宇都宮 孝輔 高橋 賛啓
■人権擁護委員候補者	横川 順子 大西 康司 鳥谷 眞由美 安藤 陽介 渡部 博之 入河 大
	池谷 三和子 濱田 澄江 千原 照明 安藤 伸子 武田 勝弘

選任等をされた方々
《9月第3回定例会》